

事故件数は、対象年と月の日数をそろえて比べる

結果

発生年2024年の本票では、月別件数が最多なのは10月の25,466件だった。暦日数で割ると11月が834.4件で最大になる。10月は1日あたり821.5件。31日と30日の違いで順位が変わった。

時間帯別では17時台が25,593件、対象の9.1%で最多だった。発生年を限定しない全ファイルでも最多時間帯は同じだった。

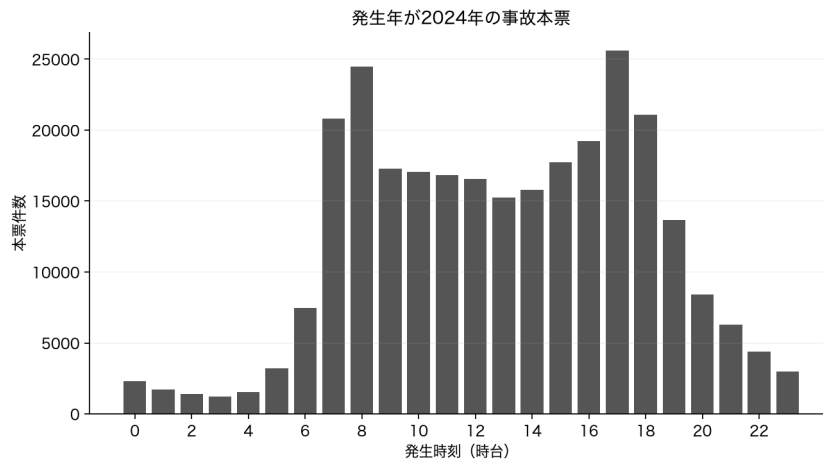
対象と限界

2024年版本票290,895行には、過去の発生年の8,519行が含まれる。今回集計したのは発生年2024年の282,376行で、公式年間統計を置き換える数字ではない。保存時点の記録を対象とし、後年収録や訂正は追跡していない。

暦日あたりの件数は交通量あたりの事故率ではない。事故のない運転、走行距離、運行回数が収録されないため、17時台が運転1回あたり最も危険だとは判断できない。

企業で調べるなら

配送や営業車の事故記録に、時間帯別の走行距離・時間・運行回数・車種を合わせる。分母がそろうまでは件数として表示する。



時間帯別の本票件数

出典：警察庁交通事故オープンデータ・2024年を加工。2026年9月7日確認。警察庁の作成・承認ではない。